



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 山洋電気株式会社

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 経理部部长 (氏名) 田母神 観一郎

TEL 03-3917-5151

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	47,155	△12.4	2,591	△31.9	2,806	△25.1	1,713	△47.1
24年3月期第3四半期	53,825	6.1	3,804	△6.1	3,747	0.4	3,242	6.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,631百万円 (△39.4%) 24年3月期第3四半期 2,689百万円 (13.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	27.58	—
24年3月期第3四半期	52.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	68,000	39,154	57.6	630.14
24年3月期	69,863	38,910	55.0	617.98

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 39,150百万円 24年3月期 38,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
25年3月期	—	6.00	—		
25年3月期(予想)				8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	△7.1	3,700	△20.6	4,000	△18.7	2,600	△40.5	41.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	64,860,935 株	24年3月期	64,860,935 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,730,787 株	24年3月期	2,727,328 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	62,131,828 株	24年3月期3Q	62,137,099 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災からの復興需要により回復の兆しがありましたが、海外経済の減速にともない輸出が減少したことにより落ち込みが顕著になっています。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械、ロボット、半導体製造装置などの設備産業業界においても、特に昨年10月以降の需要が低迷しました。

その結果、当第3四半期累計期間における連結売上高は47,155百万円（前年同期比12.4%減）となり、連結営業利益は2,591百万円（前年同期比31.9%減）、連結経常利益は2,806百万円（前年同期比25.1%減）、連結四半期純利益は1,713百万円（前年同期比47.1%減）となりました。

受注高は48,922百万円（前年同期比7.5%減）、受注残高は12,397百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は47,535百万円（前年同期比7.7%減）となり、セグメント利益は1,702百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は3,532百万円（前年同期比17.2%減）となり、セグメント利益は3百万円（前年同期比98.5%減）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は2,216百万円（前年同期比18.0%減）となり、セグメント利益は162百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD. ならびに山洋電気テクノサービス株式会社の子会社である山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司、および山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司があります。セグメント売上高は6,251百万円（前年同期比27.1%減）となり、セグメント利益は117百万円（前年同期比72.5%減）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. および山洋電気テクノサービス株式会社の子会社であるSANYO DENKI TECHNO SERVICE (SINGAPORE) PTE. LTD. およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上高は7,407百万円（前年同期比5.7%減）となり、セグメント利益は347百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、太陽光発電用パワーコンディショナ、電気自動車用急速充電器、家庭用燃料電池などの環境関連向けの新市場に多くの需要がありました。

従来からの大口市場であった通信業界向けの需要は、携帯基地局の設備投資の増加により、国内、海外とも堅調に推移しましたが、工作機械、チップマウンタ、サーボアンプなどのファクトリーオートメーション業界は国内外ともに需要が大きく低迷しました。

その結果、売上高は11,422百万円(前年同期比11.4%減)、受注高11,406百万円(前年同期比8.2%減)、受注残高1,764百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、エンジン発電機および静止型電源装置とも需要は堅調に推移しました。なかでも、昨年7月から始まった太陽光発電の全量買取制度により、太陽光発電用パワーコンディショナの需要は昨年10月以降大幅に増加しました。

その結果、売上高は7,618百万円(前年同期比10.8%増)、受注高10,435百万円(前年同期比34.8%増)、受注残高4,758百万円(前年同期比59.3%増)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国市場の停滞が継続し、IT関連の設備投資が停滞したため、工作機械、産業用ロボット、一般産業機械、半導体製造装置、チップマウンタ、射出成形機向けなど全般的に需要が大きく低迷しました。

その結果、売上高は23,191百万円(前年同期比18.7%減)、受注高21,597百万円(前年同期比19.8%減)、受注残高3,111百万円(前年同期比36.9%減)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、通信用機器、半導体関連の需要の回復に遅れがみられるものの、太陽光発電用パワーコンディショナおよびパワーコンディショナ用盤など省エネルギー、新エネルギー関係の受注が活発でした。また、鉄鋼関連事業における老朽更新などの引き合いが増加しました。

その結果、売上高は3,895百万円(前年同期比1.0%増)、受注高4,100百万円(前年同期比2.1%増)、受注残高2,093百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

⑤電気工事事業

主な事業分野の製鉄プラント設備関係は、操業率低下の影響を大きく受け、補修費削減、工事の延期により低迷しました。一方で、太陽光発電設置工事の引き合いが拡大し、多く受注に結びつきました。

その結果、売上高は1,028百万円(前年同期比38.1%減)、受注高1,381百万円(前年同期比21.1%減)、受注残高669百万円(前年同期比85.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、純資産で243百万円の増加、総資産で1,862百万円、負債では2,106百万円の減少となりました。

総資産の主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少1,664百万円、製品及び商品の減少338百万円、投資有価証券の減少197百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加281百万円、未払法人税等の減少876百万円、長期借入金の減少882百万円によるものです。

純資産の主な変動要因は、利益剰余金の増加843百万円、為替換算調整勘定の減少76百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、9,541百万円となり、前連結会計年度末より163百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の営業活動による資金の増加は、4,036百万円(前年同期間は6,162百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,549百万円、売上債権の減少額1,670百万円、減価償却費1,568百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の投資活動による資金の減少は、1,868百万円(前年同期間は851百万円の減少)となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出997百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の財務活動による資金の減少は、2,028百万円(前年同期間は4,107百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出885百万円、配当金の支払額868百万円、短期借入金の増加額11百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成25年1月28日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,912	10,046
受取手形及び売掛金	19,841	18,176
有価証券	82	81
商品及び製品	4,462	4,124
仕掛品	3,285	3,662
原材料及び貯蔵品	5,781	5,877
未成工事支出金	90	318
未収入金	695	535
繰延税金資産	867	560
その他	454	602
貸倒引当金	△29	△28
流動資産合計	45,443	43,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,455	7,999
機械装置及び運搬具（純額）	2,477	2,057
土地	6,365	6,364
建設仮勘定	287	871
その他（純額）	638	534
有形固定資産合計	18,224	17,828
無形固定資産	537	605
投資その他の資産		
投資有価証券	3,502	3,305
繰延税金資産	27	25
その他	2,155	2,306
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	5,656	5,608
固定資産合計	24,419	24,042
資産合計	69,863	68,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,039	11,320
短期借入金	8,499	8,559
未払法人税等	979	102
繰延税金負債	0	—
役員賞与引当金	65	48
環境対策引当金	179	—
その他	4,057	3,549
流動負債合計	24,821	23,581
固定負債		
長期借入金	3,369	2,487
リース債務	436	363
退職給付引当金	670	925
繰延税金負債	103	93
再評価に係る繰延税金負債	977	977
その他	574	417
固定負債合計	6,131	5,264
負債合計	30,952	28,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	18,783	19,627
自己株式	△897	△899
株主資本合計	39,273	40,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	△10
土地再評価差額金	799	799
為替換算調整勘定	△1,678	△1,754
その他の包括利益累計額合計	△875	△965
少数株主持分	512	3
純資産合計	38,910	39,154
負債純資産合計	69,863	68,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	53,825	47,155
売上原価	42,994	37,597
売上総利益	10,830	9,558
販売費及び一般管理費	7,025	6,967
営業利益	3,804	2,591
営業外収益		
受取利息	29	32
受取配当金	82	79
為替差益	—	167
助成金収入	101	7
負ののれん償却額	68	—
その他	98	25
営業外収益合計	380	312
営業外費用		
支払利息	102	81
為替差損	318	—
その他	18	16
営業外費用合計	438	97
経常利益	3,747	2,806
特別利益		
固定資産売却益	0	1
受取補償金	885	—
特別利益合計	885	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	5	60
投資有価証券評価損	250	186
役員退職慰労金	4	12
特別損失合計	259	258
税金等調整前四半期純利益	4,373	2,549
法人税、住民税及び事業税	777	531
法人税等調整額	278	297
法人税等合計	1,055	829
少数株主損益調整前四半期純利益	3,318	1,719
少数株主利益	76	5
四半期純利益	3,242	1,713

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,318	1,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△406	△11
為替換算調整勘定	△364	△76
土地再評価差額金	141	—
その他の包括利益合計	△628	△88
四半期包括利益	2,689	1,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,648	1,624
少数株主に係る四半期包括利益	41	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,373	2,549
減価償却費	1,966	1,568
売上債権の増減額 (△は増加)	3,065	1,670
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,355	△435
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,689	284
その他	394	△237
小計	6,755	5,399
法人税等の支払額	△589	△1,382
その他	△2	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,162	4,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△771	△997
子会社株式の取得による支出	—	△635
その他	△80	△235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△851	△1,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,055	11
長期借入れによる収入	685	—
長期借入金の返済による支出	△738	△885
配当金の支払額	△743	△868
自己株式の取得による支出	△2	△1
その他	△252	△284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,107	△2,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△223	23
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	980	163
現金及び現金同等物の期首残高	8,822	9,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,802	9,541

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	40,060	4,221	2,686	6,296	559	53,825
セグメント間の内部売上高または振替高	11,452	47	16	2,279	7,299	21,094
計	51,513	4,269	2,703	8,575	7,858	74,919
セグメント利益	2,347	251	205	427	411	3,642

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,642
セグメント間取引消去	162
四半期連結損益計算書の営業利益	3,804

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	36,595	3,466	2,189	4,393	511	47,155
セグメント間の内部売上高または振替高	10,940	65	27	1,858	6,896	19,788
計	47,535	3,532	2,216	6,251	7,407	66,944
セグメント利益	1,702	3	162	117	347	2,333

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,333
セグメント間取引消去	257
四半期連結損益計算書の営業利益	2,591

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。